



建交労

2024年9月4日 No.1
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2024年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

第26回定期大会及び25周年行事を開催 全組合員参加で要求闘争、組織建設の推進を

8月31日(土)～9月2日(月)の日程で、建交労第26回定期大会を群馬県ホテル磯部ガーデンホテルにて開催しました。折しも西日本方面に台風10号が上陸する中で、各交通機関がストップする困難な中、「九州・四国、中国、近畿」の代議員らの奮闘により、大会は無事には成立することとなりました。

主催者あいさつで角田季代子中央執行委員長は冒頭に、「建交労は結成25年を経たが、情勢は更なる奮闘を求めている。学童、トラ

ック、ダンプのとりくみは、政府・業界を動かしている。ヤマト運輸リストラ対策はマスコミの注目を集めて大企業の横暴を世間に暴露し、ネット署名で共感を集めた。」続い



開会あいさつをおこなう角田委員長

て、「岸田政権がお盆休み前に自民党総裁選への不出馬を表明した。裏金問題に端を発した自民党政治に対する国民の追求と私たちの運動が実を結んだ」。「改憲・大軍拡阻止の闘いを広げ、民主主義を守るとりくみが大切。建交労を強く大きくしながら、仲間たちの生活改善に向けて、運動方針に団結し、1年間ともに奮闘しよう」と参加者へ呼びかけました。

初日は廣瀬書記長が2024年度運動方針等の提案し、1日目3人(特別報告)、2日目49

人「計52人」が発言しました。初日の夕食時に「結成25周年記念レセプション」を開催し、参加者一同で歴史と運動を振り返り、楽しく交流しました。

討論の特徴は「春闘・経済闘争の推進、組織拡大、じん肺根絶闘争・職場争議、改憲阻止・大軍拡反対、反核・平和活動の推進、原発なくせ、能登半島地震・復興対策」など、各県本部・支部、業種部会や女性部・青年部の仲間たちが元気に語りました。

最終日は、運動方針・財政方針案等を採用し、スト権を確立しました。また、「組織拡大、機関紙コンクール、フォトコンテスト」の表彰をおこないました。役員の変更では角田さんを含めた3名の役員が退任しました。最後に新足立浩委員長の発声で団結がんばろうを三唱し、大会を終えました。(※定期大会の詳細は建交労雑誌版10月号に掲載)



記念レセプションのセレモニーで鏡割り